

使用上のご注意

テーブル

- ◎ 安全にご使用いただくために、この使用上の注意をよく読み、正しくご使用下さい。
また、この注意書きを保管し、必要な時にお読み下さい。

設置場所と設置方法について

- ① 直射日光や高温を発する器具を避け、冷暖房の風が直接当たらない所に設置して下さい。家具がひすんだり、変色することがあります。
- ② 高温・多湿の場所は避けて下さい。金具の錆びの発生や木材の割れ、接合部の割れの原因となります。空気が滞留するとカビやダニの発生の原因ともなりますので適度な通気を心がけてください。
- ③ テーブルは水平を保てる場所に設置して下さい。ガタツキのある場所での使用は天板や脚の接合部の割れの原因となります。
また、強度を弱め破損による怪我の原因となります。
- ④ 脚部はネジ止めとなっております。緩みのないように最後まで確実に締め付けて下さい。強度不足や転倒・脱落の原因となります。
また、締めすぎてネジ部を壊さないように注意して下さい。

ご使用にあたって

- ⑤ テーブルを移動する時は、必ず持ち上げて移動し、引きずらない様にして下さい。脚の取り付け部に無理な力がかかり、破損による怪我や早く傷める原因となります。
- ⑥ テーブルを踏み台代わりに使わないで下さい。安定を崩し、倒れて怪我をすることがあります。
- ⑦ 移動する時、上に重いものをのせたまま移動しないで下さい。落下により怪我をすることがあります。
- ⑧ 上に重い物をのせたまま放置しないで下さい。ひすみや狂い、破損の原因となります。
- ⑨ 熱湯の入った湯呑みなど熱いものは、必ず敷物や受け皿の上に置いて下さい。
また、水濡れしたものを天板の上に長時間置かないで下さい。
天板の上に直接置くと、熱や湿気で塗装面が白くなるがあります。
- ⑩ 陶磁器など底部のザラついた物でこすると、天板の表面に傷が付きます。
必ず敷物をご使用下さい。
- ⑪ 木質天板は、ボールペンなどの高硬度の筆記具を使って下敷き無しで筆記したときに、天板面に凹みを生じる場合があります。
また、外縁部に椅子や他の物品をぶつけると凹みを生じる場合があります。
- ⑫ 濡れたままの物を天板の上に放置しないで下さい。塗幕を傷めたり、素材が膨れたりすることがあります。

使用上のご注意

テーブル

保守・点検について

- ⑬ 取り付け金具類の固定用ネジ類が使用中に緩んできたら、必ず増し締めして下さい。
緩んだまま使っていると、家具が壊れて怪我をすることがあります。
- ⑭ 木材害虫による虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理を行なってください。
他から虫が入ったことも考えられますので、放置しますと、虫害が拡大する恐れがあります。
- ⑮ 日常の手入れは乾いた柔らかい布で空拭きして下さい。汚れのひどい時は、薄めた中性洗剤液を少量布に染み込ませたもので汚れをとり、乾いた布で空拭きして下さい。化学雑巾やワックス、揮発油等の溶剤系のものは使用しないで下さい。